

CONTENTS

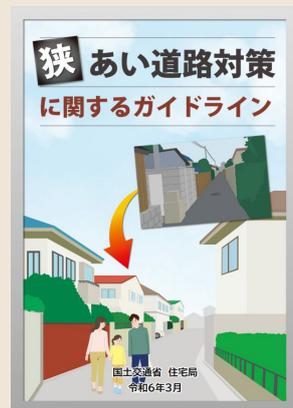
「狭あい道路の解消に向けた取組～狭あい道路対策に関するガイドラインについて～」研修会開催 1～2
 「今後の三団体（日調連、全調政連、全公連）の連携について」..... 2
 報告 10.27「総選挙」各党議員連盟の皆様ご当選おめでとうございます 2～3
 広がる道路・広がる安心 第二回「狭あい道路解消シンポジウム」千葉にて開催 4

狭あい道路の解消に向けた取組 合同研修会が開催されました

日時 令和6年6月7日(金)

～狭あい道路対策に関するガイドラインについて～

狭あい道路の解消に向けた取り組みとして全公連との合同で研修会を行いました



我々、全調政連は、全公連と連携、協力し、狭あい道路解消に取り組んでまいりました。毎年、日調連と共に要望している与野党各党議員連盟への予算・政策要望において、狭あい道路解消事業への交付金の増額と国によるガイドラインの策定を要望致しましたところ、豊田俊郎参議院議員をはじめ多くの方々のご協力・ご支援を頂き、本年3月、国土交通省において「狭あい道路対策に関するガイドライン（指針）」が作成、公表されました。これから先は、全国に向け、地方議員の方々や地方公共団体の皆さんに関心を持って頂くべく行動を起こさなければなりません。

記憶に新しい「能登半島地震」での輪島朝市通り周辺火災、「阪神淡路大震災や糸魚川市」の大規模火災をはじめ、火災に限らず昨今の災害多発に於ける大規模化の一因は、狭あい道路なるが故の諸事であり予断を許さない状況下にあると考えます。今回、タイムリーな形で全公連と全調政連の合同会議が開催され、当該ガイドライン作成の担当課長から直接内容をお聞きする機会を得ることができたことは、これから我々が果たすべく周知活動に大きな弾みとなりましょう。村上課長による「狭あい道路対策に関するガイドライン（指針）」の内容説明は国交省のホームページに譲ることとし、講演最後に「おわりに」と題し、指針作成に於ける思いを吐露して頂きました。



国交省 村上慶裕氏

「狭あい道路対策に関するガイドライン」について

講師；国土交通省住宅局市街地建築課 課長 村上慶裕 氏

ガイドラインは下記の意図で作成しており、先行する地方公共団体の取組み事例も紹介しているので、これを参考に是非とも具体的取組みを進めて頂きたいと思います。おわりに・・・

- ① 災害はいつでも、どこでも起こりうるもの
- ② 建築行政の観点では、耐震性のない老朽化した住宅等が密集する市街地の整備改善が最も重要
- ③ 2項道路をはじめとする狭あい道路や建築基準法の道路に該当しない沿道については、建替え等に制約もあり更新が進まず危険な状態が存置され易い
- ④ 今後は、路線単位や面的な整備改善の計画的な取組みが必要
- ⑤ そのためには庁内関係部署はもとより、地域住民や地域で活躍する外部の専門家との連携・協力が不可欠



『土地家屋調査士の明るい未来』

今後の三団体〔日調連、全調政連、全公連〕の連携について

日時 令和6年6月7日(金) : ホテルメトロポリタンエドモンド



全調政連会長会議の翌日、全公連第39回定時総会参加者とともに、前述の研修会が開催され、その後日調連岡田会長にも出席頂きパネル・ディスカッション(鼎談)が開催されました。

テーマは①各団体の取組みと近況 ②これまでの三者連携の実績と課題 ③調査士の明るい未来のための取組み、です。

自由な和やかな雰囲気の中各団体の長の考えを聞くことができました。

制度を変えるためには各会が単独で動くより3

会同時の方が効果的である。これは単位会レベルでも同様と思われるとの総括がされました。

左より椎名全調政連会長、日調連岡田会長、榊原全公連会長 (コーディネーター山本全調政連副会長)

報告 1 10.27
「衆議院議員総選挙」

土地家屋調査士制度

各党議員連盟の皆様 181名

ご当選おめでとうございます！！

自民党 99名・公明党 20名・立憲民主 55名・国民民主と無所属 7名 (敬称略)

自由民主党 土地家屋調査士制度改革推進議員連盟の皆様

古屋圭司(岐阜)、岸田文雄(広島)、棚橋泰文(岐阜)、石田真敏(和歌山)、平井卓也(香川)、柴山昌彦(埼玉)、城内 実(静岡)、井林辰憲(静岡)、船田 元(栃木)、逢沢一郎(岡山)、石破 茂(鳥取)、山口俊一(徳島)、野田聖子(岐阜)、鈴木俊一(岩手)、茂木敏充(栃木)、菅 義偉(神奈川)、田中和徳(神奈川)、田村憲久(三重)、高市早苗(奈良)、小淵優子(群馬)、松本剛明(兵庫)、新藤義孝(埼玉)、森山 裕(鹿児島)、西村康稔(兵庫)、井上信治(東京)、後藤茂之(長野)、上川陽子(静岡)、加藤勝信(岡山)、古川禎久(宮崎)、江藤拓(宮崎)、谷 公一(兵庫)、赤澤亮正(鳥取)、丹羽秀樹(愛知)、御法川信英(秋田)、葉梨康弘(茨城)、木原誠二(東京)、武藤容治(岐阜)、伊藤忠彦(愛知)、上野賢一郎(滋賀)、齋藤健(千葉)、橘慶一郎(富山)、

松本洋平(東京)、宮内秀樹(福岡)、田野瀬太道(奈良)、山下貴司(岡山)、中谷真一(山梨)、富樫博之(秋田)、武村展英(滋賀)、鬼木 誠(福岡)、大野敬太郎(香川)、井野俊郎(群馬)、中村裕之(北海道)、小林鷹之(千葉)、田畑裕明(富山)、國場幸之助(沖縄)、大岡敏孝(滋賀)、辻 清人(東京)、古川康(佐賀)、鈴木隼人(東京)、高村正大(山口)、西田昭二(石川)、小寺裕雄(滋賀)、平口 洋(広島)、萩生田光一(東京)、小林茂樹(奈良)、穂坂 泰(埼玉)、遠藤利明(山形)、鈴木憲和(山形)、黄川田仁志(埼玉)、岩田和親(佐賀)、中谷 元(高知)、宮路拓馬(鹿児島)、坂井 学(神奈川)、赤間二郎(神奈川)、寺田 稔(広島)、村井英樹(埼玉)、新谷正義(広島)、深澤陽一(静岡)、林 芳正(山口)、塩崎彰久(愛媛)、中西健治(神奈川)、鈴木英敬(三重)、川崎秀人(三重)、石橋林太郎(広島)、土田 慎(東京)、上田英俊(富山)、堀内詔子(山梨)、勝目 康(京都)、高見康裕(島根)、長谷川淳二(愛媛)、松島みどり(東京)、古賀 篤(福岡)、宮崎政久(沖縄)、小森卓郎(石川)、瀬戸隆一(香川)、英利アルフィヤ(千葉)、岸信千世(山口)、尾崎正直(高知)

自由民主党・無所属の会 世耕弘成(和歌山)

公明党 土地家屋調査士制度の改革・振興議員懇話会の皆様

齊藤鉄夫(広島)、赤羽一嘉(兵庫)、竹内 譲(京都)、濱地雅一(福岡)、浮島智子(大阪)、佐藤英道(北海道)、岡本三成(東京)、中野洋昌(兵庫)、鰐淵洋子(大阪)、中川康洋(三重)、輿水恵一(埼玉)、吉田宣弘(熊本)、河西宏一(東京)、金城泰邦(沖縄)、庄子賢一(宮城)、角田秀穂(千葉)、山崎正恭(高知)、平林 晃(広島)、中川宏昌(長野)、福重隆浩(群馬)

立憲民主党 土地家屋調査士制度推進議員連盟の皆様

逢坂誠二(北海道)、小宮山泰子(埼玉)、阿部知子(神奈川)、石川香織(北海道)、泉 健太(京都)、梅谷 守(新潟)、大河原雅子(東京)、大串博志(佐賀)、大島 敦(埼玉)、おおつき紅葉(北海道)、大西健介(愛知)、岡本あき子(宮城)、小川淳也(香川)、奥野総一郎(千葉)、小熊慎司(福島)、落合貴之(東京)、金子恵美(福島)、鎌田さゆり(宮城)、神谷 裕(北海道)、城井 崇(福岡)、源馬謙太郎(静岡)、神津たけし(長野)、後藤祐一(神奈川)、小山展弘(静岡)、近藤昭一(愛知)、櫻井周(兵庫)、佐藤公治(広島)、重徳和彦(愛知)、階 猛(岩手)、篠原 豪(神奈川)、下条みつ(長野)、白石洋一(愛媛)、末松義規(東京)、中谷一馬(神奈川)、西村智奈美(新潟)、野田佳彦(千葉)、野間健(鹿児島)、馬場雄基(福島)、原口一博(佐賀)、藤岡隆雄(栃木)、太 栄志(神奈川)、本庄知史(千葉)、牧義夫(愛知)、松原 仁(東京)、道下大樹(北海道)、森田俊和(埼玉)、森山浩行(大阪)、谷田川元(千葉)、山崎 誠(神奈川)、山井和則(京都)、吉川 元(大分)、笠 浩史(神奈川)、早稻田夕季(神奈川)、渡辺 周(静岡)、渡辺 創(宮崎)

国民民主党と無所属議員による土地家屋調査士議員連盟の皆様

古川元久(愛知)、玉木雄一郎(香川)、浅野 哲(茨城)、西岡秀子(長崎)、鈴木義弘(埼玉)、田中 健(静岡)、長友慎治(宮崎)

土地家屋調査士制度議員連盟の皆様、今後とも引き続きよろしくお願いたします。

10.27 衆議院議員総選挙 土地家屋調査士政治連盟の皆さまへ

50会が一丸となり、土地家屋調査士政治連盟による熱心な応援が実を結びましたこと、当選の喜びを分かち合い、地域に根差した土地家屋調査士の活躍の場が今後益々と広がりますことを期待します。ここに全国の土地家屋調査士会員の頑張りに感謝し、改めて御礼を申し上げます。

報告 2

狭あい道路解消シンポジウム開催

日時 令和6年10月17日(木)13:00～ 場所 千葉県教育会館 新館大ホール

土地家屋調査士業界挙げての第二回狭あい道路解消シンポジウムが上記記載のとおり、国会議員、県議会議員、市町村議会議員、自治体職員のご出席に土地家屋調査士を加え総勢約400名の参加で盛大に開催されました。シンポジウムは、岡田連合会会長、土倉千葉会会長の挨拶に続き、次の五つの講演をしていただきました。



千葉市石川様による狭あい道路拡幅事業についてのご講演

- (1) 狭あい道路が消防・救急活動に与える影響
四街道市消防本部 次長 村上雄広様
- (2) 狭あい道路と宅地の評価
明海大学不動産学部教授・不動産研究センター長 山本 卓様
- (3) 千葉県における狭あい道路拡幅整備事業について
千葉市都市局建築部建築指導課 課長 石川幸夫様
- (4) 狭あい道路に向けた取り組み
国土交通省住宅局市街地建築課 課長 下村哲也様
- (5) 街づくりにはたす土地家屋調査士の役割
参議院議員・土地家屋調査士 豊田俊郎様

四街道市消防本部の村上様からは、火災現場まで消防車両が到着できず、ホースを伸ばして消火作業をしなければならない事例などの話を伺いました。また、狭隘道路が消防活動に与える影響、救急活動に与える影響の話では、あらためて、早急に狭あい道路を解消しなければと強く思いました。国土交通省下村様からは、令和6年3月に作成された狭あい道路対策に関するガイドラインを中心とした説明を伺いました。狭あい道路解消に向けた取り組みとして東京都杉並区、豊島区などの好事例の紹介をしていただきましたが、全国の住宅の接道が狭あい道路に接する割合は3割もあり、早急に解消していかなくてはなりません。私たち土地家屋調査士は、業界を挙げて、関係当局と連携し、自らの専門性を発揮し、狭あい道路解消に粘り強く取り組んでいくことを再認識したシンポジウムでした。

来年は、このシンポジウムは仙台で開催されます。今年以上に盛会になることを期待しています。



全調政連権名会長と次回開催地宮城政連松田会長のご挨拶

政治連盟にまだ入会されていない方へ — 政治連盟入会のお願い —

あなたの協力が必要です。

土地家屋調査士制度を守るのは、一人ひとりの土地家屋調査士です。

政治連盟の主な活動は、日調連が国に対し掲げる要望や「現場から寄せられる様々な声」を国政に届けるため、国会議員等と常日頃から連携するほか、土地家屋調査士制度に理解のある国会議員を支援し、政治に働きかけていく事です。こうした活動は、すべての土地家屋調査士会員のみなならず、国民の皆様の利益にもつながることから、政治信条に関係なく政治連盟の会員になっていただくことをお願いするものです。現場の実情に基づいた政策・制度が構築されますよう、本連盟の活動にご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。お一人おひとりからの会費が活動資金となります。筆界の専門家たる「現場の声」「組織としての力」を政治の場に届けるためにも、是非ともご入会よりしくお願いいたします。(下記WEB申込をご利用いただけますと単位政連から連絡があります。ご入会手続きをお願いします。)

お問い合わせ

全国土地家屋調査士政治連盟

TEL : 03-6273-7507

FAX: 03-6273-7508

全国土地家屋調査士政治連盟HP



WEB申込は
こちらから



『広がる道路 広がる安心』

狭あい道路を解消し、安全で安心な街づくりを!

